

国内外のエコビレッジから学ぶ、持続可能な社会のためのヒント

第3回エコビレッジ国際会議TOKYO、来春開催！

「環境危機世紀 持続可能なコミュニティへの挑戦」
～小さなアクションを大きなうねりへ～

地球規模での取り組みが急務とされる環境問題に加え、日本国内では、格差の拡大や農村の危機、化石燃料の高騰、食料自給率など様々な問題に直面しています。こうした状況を打開するため、ライフスタイルを持続可能な方向へとシフトしていく必要性を多くの人が感じつつあるのではないのでしょうか？

「エコビレッジ」は、環境問題、食の安全、地域再生、エネルギー、教育など、現代社会が直面する様々な問題に根本的かつ包括的にアプローチする新しいライフスタイルモデルとして、近年、世界中で注目を集めています。

NPO法人ビーグッドカフェは、世界のエコビレッジの事例を広く紹介し、また、日本国内の取り組みを共有する機会として、2006年から国内外のゲストを招いてのエコビレッジ国際会議を開催してきました。

第3回を迎える今回は規模を拡大し、2009年4月24日から26日の3日間の日程で開催します。ゲストには、デンマーク、イギリス、韓国、スリランカからスピーカーをお招きし、各国の最新事例について、また、日本からは日本型エコビレッジの実践例について情報共有を行ないます。さらに、本国際会議では、分科会を充実させ、来場者間の情報共有や主体的な参加を促進します。

本国際会議のチケットは、2009年1月下旬より発売開始予定。

国際会議に先駆け、「エコビレッジ・イヤー」を展開

今回の国際会議に先駆け、各分野の持続可能な社会を目指す団体と協力し、「エコビレッジ・イヤー」を展開しています。様々なテーマでのフォーラムの開催や、関係団体間の情報共有、共同での情報発信を行ない、エコビレッジの取り組みを広める活動を行っています。

参照サイト：「エコビレッジ・イヤー」<http://ecovillage-japan.net/>

「エコビレッジ」とは：

食べ物、エネルギー、人と人の繋がりなど生活の各要素において、持続可能な解決策が包括的に実践されているコミュニティや地域。その土地が本来持っている気候風土や文化を活かし、共に暮らす人々の合意形成を経て形づくられるため、先進国の都市から発展途上国の農村まで様々なタイプのエコビレッジが存在する。1998年には、UNHABITAT（国連人間居住計画）において「持続可能な100のモデル実践例」に挙げられ、05年にはUNITAR（国連訓練調査研究所）より「持続可能な開発（ESD）のための教育プログラム」としてエコビレッジデザイン教育が正式に認証されている。

第3回エコビレッジ国際会議TOKYO 開催概要

名 称： 第3回エコビレッジ国際会議TOKYO The 3rd Ecovillage Conference Tokyo
テーマ： 『環境危機世紀 持続可能なコミュニティへの挑戦』～小さなアクションから大きなうねりへ～
日 時： 2009年 4月24日(金)～26日(日)
会 場： 東京ウィメンズプラザ、国連大学 (東京都渋谷区)
来場者数： のべ1,000名程度 (第2回実績 450名/2日間)
主 催： NPO法人ビーグッドカフェ
共 催： NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン(PCCJ)、日本エコビレッジ推進プロジェクト(JEPP)、懐かしい未来ネットワーク
協 力： Global Ecovillage Network(GEN)、NPOハッピーアース(フィリピン)
協 賛： エコプロダクツ2008、東京建物株式会社、アマタ株式会社
後 援： 環境省、国土交通省、農林水産省、日本大学生物資源科学部 (予定)

ゲストスピーカー・講演者(予定)：

ロス・ジャクソン(GEN創設者、ガイアトラスト主宰)
ヒルダー・ジャクソン(GEN創設者、ガイアトラスト主宰)
メイ・イースト(GEN理事、フィンドホーン財団)
ヴィンヤ・S・アリアラトネ(スリランカ・サルボダヤ運動)
リム・キョウンス(韓国 株式会社E-jang 代表取締役社長)
糸長浩司(日本大学教授、パーマカルチャー・センター・ジャパン代表理事)
井上昭夫(天理大学教授、国連ユニタール特別上席顧問)
辻信一(明治学院大学教授、ナマケモノ倶楽部 世話人)
榎本英剛(トランジション・ジャパン創設者)

講演テーマ例：

「世界のエコビレッジ最新事例」、「企業によるエコビレッジ作り」、
「日本の農村危機と新しいうねり」、「アフリカのエコビレッジ運動」、
「トランジション・タウンの可能性」など

その他、国内のエコビレッジ実践者によるパネルディスカッションや、「農業」「教育」「地域再生」などをテーマに多数の分科会を予定。また、音楽ライブやアートイベント、ヨガワークショップも同時開催します。
※内容は変更される場合があります。ご了承ください。

<ご取材に関するお問合せ>

NPO法人ビーグッドカフェ 広報担当 片岡
TEL：03-5773-0225 FAX：03-5773-0226 E-mail：press@begoodcafe.com

<第3回エコビレッジ国際会議TOKYOへのご参加に関するお問合せ>

NPO法人ビーグッドカフェ エコビレッジ国際会議TOKYO担当 (坂本、代田)
TEL：03-5773-0225 FAX：03-5773-0226 E-mail：ecovillage@begoodcafe.com

NPO法人 BeGood Cafeとは

1999年、原宿のコミュニティカフェとしてスタート。「持続可能な社会と平和」「みんなでつながろう」をグランドテーマに、食・農・環境・教育、コミュニティ再生など各分野でトークイベントやワークショップなどを開催。近年は企業や自治体とも協力の輪を広げ、放置ミカン農園の再生を目指す「オレンジプロジェクト」や子供環境サマーキャンプ「クボタ地球小屋」など持続可能な社会の実現に向けたイベント実施、情報発信・共有活動を行なっています。

ウェブサイト：<http://begoodcafe.com/>

過去の国際会議の様子はこちらをご参照ください。<http://begoodcafe.com/main/ecvc2009>

